

嘉手納基地における米軍のパラシュート降下訓練の中止を求める決議

米軍が3月6日に計画している嘉手納基地でのパラシュート降下訓練は、報道によると読谷村のトリイ基地所属の陸軍特殊部隊（グリーンベレー）、在沖空軍、同海兵隊空挺部隊の三軍合同訓練となる見通しとのことである。

昨年5月30日に米軍が同飛行場でグリーンベレーによる降下訓練を実施した際にも、北谷町議会は基地機能の強化に断固反対する立場から強く抗議したところである。

今回、さらに空軍、海兵隊空挺部隊を加えた合同訓練を実施することは、県民の抗議を完全に無視するばかりでなく、米軍がパラシュート降下訓練のために嘉手納基地の恒常的使用を企図しているものと言わなければならない。

嘉手納基地のこのような形態での使用は、降下訓練を読谷補助飛行場から伊江島へ移設するとしたSACO合意にさえ違反するものである。「即応態勢の維持」のためならば通常訓練以外の危険な訓練のためにも嘉手納基地が使用されることを示している。これは明らかに基地機能の強化につながるものである。

北谷町民は現状でも航空機の頻繁な離着陸訓練による爆音をはじめ各種基地被害によって、肉体的、精神的に圧迫され、静かな生活環境が米軍によって奪われている。

これ以上の基地機能の強化は、住民の被害を一層拡大するものであり断じて容認できるものではない。

よって本町議会はたび重なるパラシュート降下訓練に強い怒りをもって断固抗議するとともに、訓練の即時中止を要求するものである。

平成11年3月4日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官 嘉手納基地第18航空団司令官

在沖米国総領事 沖縄県議会議長